

令和6年12月9日

救急活動における救急救命士の誤挿管について

令和6年11月30日(土)に市内に住む70代の男性が、自宅の浴槽内で意識呼吸がないとの119番通報を受けて救急車が出場し、市外の医療機関に搬送しましたが、間もなく死亡が確認されました。

この間、直接の死因には関係しないことが確認されたものの搬送医療機関の検査により、本市の救急救命士による気管挿管のミスが判明しました。

消防機関として、このような事案が発生した事を重く受け止め、今回の検証と改善に努めてまいります。

【鈴木憲一消防長コメント】

亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともにご家族皆様に対しましてお悔やみ申し上げます。

今回の事案を検証するとともに、救急救命士を対象とした気管挿管の手順などを再確認するための研修や全救急隊員への再教育を実施し、救命技術の向上に努めてまいります。

【問合せ先】

習志野市消防本部 消防総務課
電話：047-452-1282